

「鯨と斗う男」 上映プロジェクト 寄付金募集!

いまから60年以上前に公開された映画『鯨と斗う男』は、鯨の町・宮城県鮎川を舞台に、捕鯨船の砲手に扮した若き高倉健が鯨を追って躍動する海洋活劇です。これが主演二作目という高倉健の若さあふれる演技も魅力ですが、私たちにとって最大の魅力は、この映画が鮎川と石巻で全編ロケされていることです。鮎川に向かう船の船着場、鮎川の港、大洋漁業の解体場、くじら祭、石巻の盛り場、日和山などがしっかりと収められています。

東日本大震災は牡鹿の浜辺、鮎川の港や街、石巻の街角を流し尽くし、そこにあった故郷の原像をすべて奪いとってしまいました。そしてかつてここに住んでいた人々も、故郷を去ることになりました。そんな失われた故郷の原像がこの映画のフィルムに残されていたのです。これを故郷の人たちと、できれば、故郷を去った人たちとも一緒に見る機会をつくりたい、それがこの上映プロジェクトの目的です。

この映画のロケで使われたダリア食堂を運営していた遠藤宮子さん(93歳)は、「今でも夢に見るんですよ、「鯨と斗う男」。高倉健、男ぶりは一番。佐野周二(関口宏の父)はうちの店の六畳間にひとり座って、お茶飲んだりうどん食べてたんだから。私、手を握ってもらったんですよ。町の人も混じって全員で記念写真撮ったんだけど、みんな津波に流されてしまった。いまだしかなかったねえ」(『石巻学』3号)と、この映画にまつわる思い出を語っています。

映画の原盤は、著作権も保有している東映に残っています。これを自主上映でよくあるように、ブルーレイなどのディスクにしてでも上映することができないか東映に問い合わせたところ、

- ・いまの映画館で使われているプロジェクターで上映するためには、原盤をDCP(デジタルシネマパッケージ)という形式のデータに変換する必要がある。
- ・東映・東宝・日活などの大手映画会社では販売用のDVD以外はすべてDCPデータでしか提供しない。
- ・東映では、この映画の原盤をDCPデータにしたり、DVDにして市販することは今のところ考えていない。

という回答を得ました。では上映するためにどうしたらいいかを尋ねたところ、上映権は別として、このDCPデータ変換の制作費およそ百万円を負担してもらえばデータ化は可能、とのことでした。

まずはこのDCPデータにすることが先決ということになります。

『鯨と斗う男』上映プロジェクトでは、さまざまな団体や個人からの寄付を募って

- ・『鯨と斗う男』を原盤からDCPデータに変換し、
 - ・その後、上映権の交渉を経て石巻や鮎川でこの映画を上映していきます。
- 具体的には2019年8月の石巻川開きと鮎川でのくじら祭りに上映会を行うことを目指します。

一度データにしてしまえば、今後はいつでも見られることになり、これをひとつの文化資源として、活用していくことも可能になると思います。

なにとぞ趣旨にご賛同のうえ、ご寄付を賜りますようお願いいたします。

特に一口いくらという規定はありません。金額はいくらでも構いませんので、なにとぞご寄付のほど、よろしく願いいたします。

★5,000円以上ご寄付いただいた皆様には、「鯨と斗う男」上映会の招待券をお送りします。



映画『鯨と斗う男』

79分/モノクロ/シネマスコープ
1957年(昭和32年)7月9日公開

製作・配給：東映
原案：田畑喜作
監督：津田不二夫
脚本：岡田豊
音楽：小杉太一郎
撮影：星島一郎
照明：森沢淑明
美術：田辺達

キャスト

佐野周二 / 高倉健 / 小宮光江
花澤徳衛 / 曾根秀介 / 外野村晋
岩城力 / 山本麟一 / ディック・ミネ
滝沢章和 / 十朱久雄 / 志摩栄
増田順二 / 坂本武 / 月村圭子
岡部正純 / 佐原広二 / 月丘千秋

募金の名称	「鯨と斗う男」上映プロジェクト
募金の主体	石巻学プロジェクト
振替口座	【郵便振替口座】 加入者名：石巻学プロジェクト 口座番号：00250-0-88624 他銀行からの振込の場合 店番：〇二九(ゼロニキュウ)店(029) 預金種目：当座 / 口座番号：0088624
問合せ	大島幹雄(おおしま みきお) 電話 090-2207-8185 メール izj00257@nifty.com
石巻学プロジェクト 代表 大島幹雄 〒236-0052 神奈川県横浜市金沢区富岡西 2-21-23	